

# with Dignity

金城学院の明日を見つめる [ウィズ・ディグニティ]

金城学院報

2023.  
12  
vol. **42**

特集1

美しい音色に想いを乗せて。

金城学院高等学校

ハーパンサンブル部

特集2

金城学院幼稚園設立50周年、  
その先の未来へ向かって。



創設から48年。  
先輩たちから受け継いだ音色を、  
さらに未来へ。



金城学院にハーブアンサンブル部が創設されたのは1975年のこと。中学校に1台のハープが贈呈されて以来、紡いだ歴史と伝統に新たな息吹を吹き込みながら、演奏活動続ける部員たち。近年は世界的なハーブ奏者と同じステージに立つなど、活動の場を広げています。

金城学院高等学校ハーブアンサンブル部は1978年、宣教師M.I.ケリー先生・川口鐘一先生・河合栄治先生・ハーピストの岡島多恵子先生により創設されました。ハーブは神を讃える楽器のひとつで、ハーブの美しい響きは、神への感謝と喜びを表すもの。その精神は今も部員たちの心の中に自然に引き継がれています。現在、部員は23名。所有しているハーブは、ペダルハーブ(グランドハーブ)、レバーハーブ(ケルトハーブ)、ミニハーブ(ベイビーハーブ)の3種類。ハーブだけの部活は珍しく、高等学校においては全国でも数校しかありません。2014年度からは、卒業生でハーブ奏者の三宅百合子先生をコーチとして迎え、熱心な指導のもとで練習に励んでいます。

主な活動としては、学内では新入生歓迎会や文化祭、クリスマス礼拝などで演奏するほか、学外では、教会や病院、老人ホーム、東区のまちづくりサポーターとして「歩こう!文化のみち」で演奏し、喜んでいただいています。また、近年は中学と高校が合同で世界的なハーブ奏者によるハーブ・ワークショップを開催したり、コンサートに賛助出演するなど、活動の場を広げています。部の創設から今年で48周年。アンサンブルとして、皆で心を合わせて演奏し、先輩たちから受け継いだ音色を、これからも大切につないでいきます。



和気あいあい、練習に励む生徒たち。



三宅百合子コーチ(左)と、水野あさみ先生(右)。水野先生は顧問として、生徒たちを見守り支えています。





2022 11/7 (Mon.)

## アレクサンダー・ボルダチョフ氏による ハープ・ワークショップを開催。

ロシア出身の世界的ハープ奏者で、世界各地で演奏活動が続けるアレクサンダー・ボルダチョフさんが本校を訪れ、中・高の部員たちを前にミニコンサートを開催。その後、ワークショップが開かれ、部員一人ひとりに弦のはじき方などを指導してくださいました。ミニコンサートでは、ボルダチョフさんはショパンの「ワルツ」やビートルズの「イエスタデイ」など6曲を披露。中・高の部員も、チャイコフスキー「くるみ割り人形」より「花のワルツ」などを演奏しました。ボルダチョフさんは2023年11月にも来日し、全校生対象のハープコンサートと、部員対象のハープ・ワークショップを開催します。



菊地恵子先生(中央)を囲んで

2023 3/12 (Sun.)

## 東京・内幸町ホール文化祭にて 菊地恵子先生のコンサートに賛助出演。

東京の内幸町ホールで開催された文化祭『アイリッシュハープの響き』で行われた菊地恵子先生(ケルトハープ音楽の研究者・演奏家)のコンサートに中・高の部員が賛助出演。レバーハープ12台、ミニハープ8台でアイルランド民謡の数々を演奏し、好評を博しました。



2023 8/4 (Fri.)

## 金城学院中学校・高等学校管弦楽部 定期演奏会に出演。

しらかわホールで開催された金城学院中学校・高等学校の管弦楽部の定期演奏会に高2の部員が出演。ビゼー作曲「カルメン」組曲第1番をオリジナルの編成で演奏しました。



加藤由理さん

ハープ  
アンサンブル部  
部長 / 3年生

堀田莉々子さん

ハープ  
アンサンブル部  
副部長 / 3年生

2023 8/18 (Fri.)

## マイケル・ルーニー氏が率いる ミュージックジェネレーションの 演奏会に賛助出演。

名古屋西文化小劇場で開催された『マイケル・ルーニー、ジューン・マッコーマック&ミュージックジェネレーション・リーシュ・ハープアンサンブル日本ツアー2023』の名古屋公演に、中・高の部員が賛助出演しました。マイケル・ルーニーさんは、英国王室での演奏・作曲を経験しているアイリッシュハープの巨匠で、ジューン・マッコーマックさんはアイリッシュフルートの世界的奏者。演奏会では、日本とアイルランドの伝統曲でコラボレーションするなど、音楽を通して、アイルランドと日本の文化交流を深めることができました。



## 人の心に届く演奏が できた喜び。

入部のきっかけは、金城学院中学の学校説明会で、先輩方がハープを優しく教えてくれて素敵だと思ったこと。ハープに憧れ、ハープを弾くために金城に入学したといっても過言ではありません(笑)。中1から6年間、ハープを続けて一番心に残っているのは、教会で演奏奉仕をしたときのこと。演奏を聴きながら涙を流している方がいて、すごく感動しました。ハープに出会い、心豊かな高校生活が送れたことに感謝しています(加藤さん)。

## ハープを通じて、 世界が広がりました。

アンサンブルの魅力は、高音の優しい音色や低音の迫力ある音が重なりあって生まれるハーモニーの美しさ。自分で演奏していても、すごく感動します。海外の演奏家たちと一緒に演奏する機会を持てたのも、ハープが好きで、ずっと続けてきたから。海外の人の音の感じ方やリズムの取り方が私たちと違うし、言葉の壁も大きかったのですが、この体験をしたからこそ、もっと英語を勉強し、内面も磨きたいと思うようになりました(堀田さん)。

2023 8/19 (Sat.)

## 演奏会翌日には学生アンサンブルの メンバーと交流会も。

演奏会の翌日には、名古屋市内のノリタケの森にて、アイルランド国立音楽教育プログラム「ミュージックジェネレーション」に所属する学生アンサンブルのメンバーと交流会を開催。学生同士がそれぞれの国の音楽文化や演奏活動を紹介しあったり、プレゼント交換をするなど、心を通わせるひと時をもちました。





特集2 金城学院幼稚園設立50周年、その先の未来へ向かって。



# 記念礼拝 & 記念コンサートが盛大に開催されました。



当園では2022年度～23年度の2年間にわたり、設立50周年を祝うさまざまな行事を行ってきました。そして2023年8月26日(土)には、記念行事のメインイベントとなる「同窓会・ホームカミングデイ」と「記念礼拝・記念コンサート」を開催しました。当日は1,500名以上の方が来てくださり、記念行事は大盛会のうちに終了しました。



おかえりなさい!

幼稚園で行った「同窓会・ホームカミングデイ」には多くの卒園生や保護者の方々、旧職員の方々に来ていただきました。

## 50周年記念同窓会・ホームカミングデイ



久々の再会を喜び合う卒園生や保護者の皆さん。



50年分の名簿整理や記念行事の準備・受付など、多くの力を貸してくださった歴代の支える会の皆さま、保護者の皆さま、ありがとうございました!



教室に展示されているアルバムや卒園制作を見ながら、思い出話に花が咲きました。



二人ひとりを大切に「保育」をこれからも。

おやつ作りをしたい子は集まってクッキーを焼いたり、外で遊びたい子は外で遊んだり。この園は設立当初からとにかく自由で、保育者はそんな子どもたちを観察し、ここぞという時に手を差し伸べる。それは保育士の力が試される作業ですが、この園がずっとそれを続けてきたのはすごいと思います。これからも「一人ひとりを生かす保育」を貫いてほしいと願っています。

**服部和子さん**  
1973-1975年、金城学院幼稚園に教諭として勤務。

子どものありのままを受け入れてくれる保育に惹かれて入園。縦割り保育なので、親も横のつながり、縦のつながりができて、先輩のお母さんからも多くのことを学びました。長男も、自分がこの園に通って楽しかったからと、ここで教育実習をさせていただきました。この園で、子どもも親も育てていただきました。

**住田美江さん**  
長女(25回生)と長男(27回生)の2人が当園の卒園生。

この園で、子どもも親も育てていただきました。

幼稚園20周年の年に長男が入園。園の見学に来た時に、子どもたちが楽しそうに遊んでいて、いいなと思いました。当時は現園長のめぐ先生も在職されていて、子どもたちよりも一生懸命に土を掘っていて、その姿に惚れ込んだのが入園の決め手(笑)。西川道子園長の言葉から学ぶことも多く、今も心に残っています。

**岡村幸子さん**  
長男(20回生)はじめ、次男、長女、次女の4人のお子さまが当園の卒園生。



## 50周年記念礼拝

【アニー・ランドルフ記念講堂にて13時より開会】

「50周年記念礼拝」はオルガンの前奏からはじまり、続いて全員で讃美歌『ひかりひかり』を合唱。神さまに感謝のお祈りをし、聖書の言葉を暗唱したのち、小室尚子金城学院学院長・宗教総主事より『光の子として歩む』と題した聖書のお話があり、ともにお祈りをささげました。



静かに、祈りの心で開会を待つ子どもたち。



『Amazing Grace』を歌う讃美歌手話の会（父母の会の有志の会のひとつ）の皆さん。

小室尚子 金城学院学院長・宗教総主事による聖書のお話とお祈り。



全員で讃美歌「ひかり ひかり」を歌いました。



祝辞を述べる戸苅創金城学院理事長。

## 50周年記念コンサート

【アニー・ランドルフ記念講堂にて14時より開演】

礼拝に続いて行われた記念コンサートでは、「ひかりの子ハンドベルクワイア」、「Catta de Terra (カタデテラ)」、「Ensemble Agréable」、「ママボンズ」の4組が出演。素晴らしい演奏とパフォーマンスに、会場は大きな拍手に包まれました。



小学生Aチームの演奏。「ひかりの子ハンドベルクワイア」は2010年に結成した小学生のクワイアで、卒園後も幼稚園に来て練習に励んでいます。



小学生B・Cチームの演奏。

在園の年長男子の母5人で結成したCatta de Terra。優雅で華麗な演奏で会場を魅了しました。



この日は卒園生で、現在東京芸術大学で学ぶ和田遥人さんも賛助出演。



息のあった演奏を披露する中学生以上のチーム。

卒園者の保護者の方々4人で結成したEnsemble Agréable。さまざまな楽器が織りなす美しい響きと音色に、観客もうっとり。



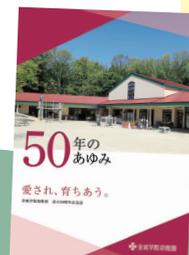
卒園生の保護者で結成されたママボンズの楽しいパフォーマンスに、子どもたちもノリノリ。



記念コンサートもついにフィナーレ。出演者全員がステージに上がり、聴衆と一体となって「にじ」と讃美歌「ひかりひかり」を歌いました。



「光の子として、また会いましょう！」コンサートが終了し、ごあいさつをする児玉芽園長。



金城学院幼稚園の50年の歴史をたどり、次の50年につなげる記念誌『50年のあゆみ』が完成しました。1冊500円。お求めは園までご連絡ください。





ビルやダム、道路や橋など、社会インフラの整備に欠かせないコンクリート。一方で、製造過程で大量に排出されるCO<sub>2</sub>、良質な天然骨材資源の枯渇、コンクリート構造物の早期劣化など、多くの課題を抱えているのも事実です。こうした中、コンクリートの未来に向けて、様々な研究に取り組む朴相俊先生。「培ったコンクリート工学の知見と経験を活かして持続可能な社会に貢献したい」。そんな朴先生の想いが、いま、少しずつカタチになろうとしています。

## 恩師との出会いから始まったコンクリート研究。

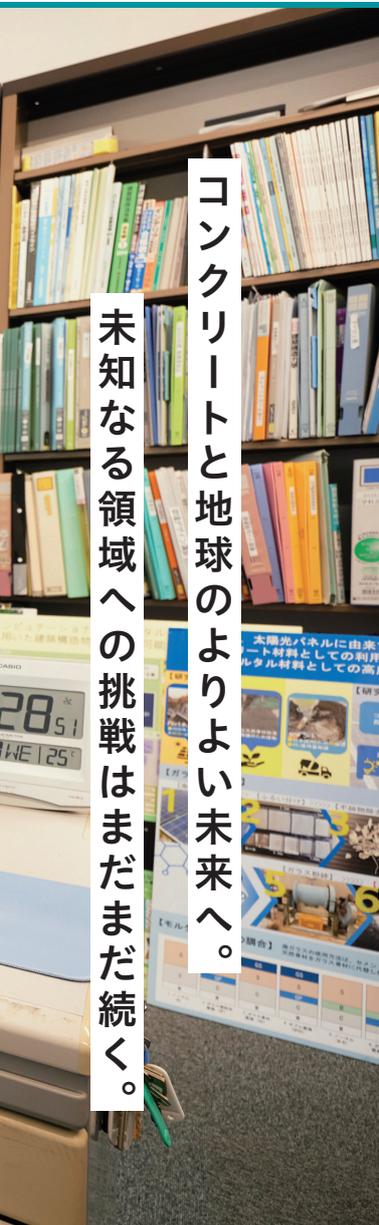
私がコンクリートの研究をしようと思ったきっかけは、大学のゼミ指導教員の紹介でコンクリート工学の権威である谷川恭雄先生に出会ったこと。「勉強を続ける思いがあるなら、ぜひ来てください」と言っただき、日本への留学を決意。谷川先生が教鞭をとる名古屋大学大学院工学研究科でコンクリート研究を進め、博士を取得しました。谷川先生からは、研究面ではもちろんのこと、探求のまなざし、研究者としての姿勢にも、多くを学びました。好奇心をもつこと。考え続けること。それは私の研究に対する姿勢の原点にもなっています。「研究者になろう」と決めたのも、谷川先生の影響が大きかったと思います。

現在は、「小径ドリル型削孔試験機による火害を受けたモルタルの強度推定のための検証実験」、「赤外線カメラを搭載したドローンを用いたRC構造物の劣化診断」、「PCを利用してコンクリートの破壊機構の数値解析やシミュレーションを行う研究」に取り組んでいるほか、新たな課題にも挑んでいます。そのひとつが、「使用済み太陽光パネルの廃ガラスを有効利用する技術の研究開発」です。

## 太陽光パネルの大量廃棄時代の到来に備えて。

日本では2012年以降、太陽光発電が急速に拡大。カーボンニュートラルの観点から、今後も増加し続けると予測されます。ただ、太陽光発電のパネルには寿命があり、2030年代に大量廃棄されることが見込まれます。産業廃棄物処分の増設も厳しいため、パネルの再利用法の検討は急務です。一方、コンクリート材料の現状を見ると、CO<sub>2</sub>排出量が多いセメントは使用量の削減が求められています。また、川や山から採取できる良質な天然骨材資源が枯渇しており、自然環境保護の観点からも新しい代替材料の使用が求められています。そこで本研究室が取り組んでいるのが、太陽光パネル由来の廃ガラスをコンクリート中のセメントの一部と、骨材として循環利用する技術の研究開発。廃棄される材料を使い、天然骨材の使用量を削減することで、低炭素社会や使用済太陽光パネルの再利用推進に貢献できると考えています。

「竹炭入りコンクリートにおけるスギ花粉吸着性に関する研究開発」は、日本では今、土砂災害や環境破壊を引き起こす放置竹林が問題視され、竹の新たな活用法が模索されていることを背景に着手した



未知なる領域への挑戦はまだまだ続く。

コンクリートと地球のよりよい未来へ。



## 朴相俊 准教授

Park Sangjun

金城学院大学 生活環境学部  
環境デザイン学科

1998年韓国国立尚州大学建築学科卒業。  
2000年韓国国立慶北大学校大学院修士課程建築工学科修了。  
2004年名古屋大学大学院博士課程工学研究科修了。  
東京理科大学火災科学研究所 博士研究員、矢作建設工業(株)地震工学技術研究所主任研究員を経て、2011年金城学院大学生活環境学部環境デザイン学科講師、2015年准教授に就任。2022年からは同大大学院 人間生活学研究科消費者科学専攻を兼務。また、2023年から同大キリスト教文化研究所所長に就任。

所属学会：日本建築学会、日本コンクリート工学会、プレストレストコンクリート工学会、コンクリート支援機構(ASCOT)、中部セメントコンクリート研究会

テーマで、本研究室は竹炭の細孔構造の吸着性能に着目。竹炭入りのコンクリート試験体を製作し、スギ花粉の吸着実験を行っています。これまでにスギ花粉が細孔部分にしっかりと入り込み吸着している様子を確認しています。なお、本研究室の研究開発はすべて民間企業との共同開発研究であり、特にこの2つのテーマはSDGsの取り組みとして社会に貢献できる研究であり、社会への応用をめざして、ゼミの学生とともに取り組んでいます。

### クリスチャンとして生きるということ。

私は高校2年生の時に韓国のプロテスタント教会で洗礼を受け、以来、クリスチャンとして毎日を生きています。私の好きな聖書の言葉に、「真理はあなたがたを自由にする(ヨハネ8:32)」という言葉があります。私たちは弱い人間であり、悩み落ち込みます。世間に振り回されることもしばしばあります。しかし、イエス様を信じる信仰と、神様を知る心理の中に入れて、自由になれると思います。研究においても同様で、上手いかなかったり、壁にぶつかることがあります。そんな時に、私を励まし支え、前を向かせてくれるのが信仰であり、研究の仲間(ゼミの学生)。一所懸命に卒業研究に取り組む学生たちがいるから、私も頑張れる原動力になっています。



ゼミ生たちと御在所岳山頂で

体を動かすことが好きで、山登りをしたり、散歩したり、スポーツをしたりしています。コロナ禍の前は、ゼミの学生と御在所(三重県)の山登りをゼミの行事として行っていました。サボテンを育て、鑑賞することも好きです。

ゼミでは1~3年生で学んだ知識と技術をもとに、産学連携の共同研究を行い、様々な社会課題に取り組んでいます。研究では、竹炭を焼いたり、コンクリートを作ったり、強度の診断をするなど、実際に手を動かして作業を行っています。また、企業との打ち合わせや建設現場の見学会も行い、理解をさらに深めています。

朴相俊先生のゼミ風景



小径ドリル型削孔試験機の使い方を講義。



コンクリートの圧縮強度の測定中。

学生たちが製作したコンクリート試験体。

## Q. 朴相俊先生ってどんな人？

### 将来の夢は、建設現場の監督になること！

小径ドリル型削孔試験機で火害コンクリート構造物の損傷度を把握する研究を行っています。朴先生は、コンクリートの損傷度を早く、正確に診断して適切な対策をすることが、コンクリートをより長く安全に使うことにつながる、ということを実験を通して教えてくれるので、使命感とやりがいを持って取り組んでいます(宮嶋)。

### どんな相談にも親身に応えてくれる先生です

私は太陽光パネルの廃ガラスをコンクリートの骨材として再利用する研究に取り組んでいます。朴先生は実用化をめざして頑張っている私たちを見守り、励ましてくれます。いつも(夏休み中も毎日!)研究室にいて、学生を温かく迎えてくれるので、実験のことだけでなく、就職のことや悩みなども相談しています(西堀)。

左から宮嶋杏さん  
西堀綾華さん(4年生)





「園は大丈夫。母親はあなたひとりなのだから、そばにいてあげて」。  
わが子が熱を出し、急きょお迎えに行かねばならないときも  
こんな言葉で背中を押してくれる頼もしい同僚たちに支えられ、  
保育の仕事にも子育てにも、全力で向き合う桑原あゆみ先生。  
モットーは、子どもも保育者も「楽しい！」を見つけれられる園生活を送ること。  
子どもたちと考えたり、挑戦したりしながら、共に育ちあうことを楽しんでいます。

## 子どもと保育者が本気で遊ぶ姿に惹かれて。

保育者になりたい。私がそう思い始めたのは、私が通っていた幼稚園の先生のこと大好きだったから。子どもと一緒に水遊びをしたり、園庭の粘土を掘って粘土遊びをしたり、困った時は助けてくれる。私もそんな先生になりたいと思いました。

就職先に金城学院幼稚園を選んだのは、短大の専攻科1年次にこの園で7ヶ月間実習(週2日)させていただき、子どもと保育者が本気で遊ぶ姿、一緒に園の生活、保育を作りあげていく姿が素敵だと感じ、私もここで保育がしたいと思いました。ただ、入職当初は、上手く保育をしなければ、クラスを上手にまわしていかなければ、という気持ちばかりが先行し、何もできない自分がありました。そんな私を助けてくれたのは年長の子どもたちです。泣いている年少さんがいればやさしく接したり、遊びの輪に入れてくれたり。下の子たちはそんな年長さんに憧れを持って接している。子どもの力ってすごい!と圧倒され、感動しました。自身も親になり、子どもや保護者の気持ちがわかるようになった今は、子どもたちと一緒に考えたり、試したり、挑戦したり、支え合ったりする中で、共に育ちあうことを楽しんでいます。

## 子ども一人ひとりの思いにふれ、想像を巡らせる。

本園では、3~5歳の異年齢の子どもたちがかわりあい、好きな遊びを自由に選び、思い思いに遊ぶことで、自主性や創造性、人と関わる力を育てています。けれども、なかには「自由」が「不自由」な子どもたちもいます。特に今はゲームや既製品のおもちゃがたくさんあり、泥だんごでもキットがあって簡単に作れてしまう。そんな時代にあって、自由に好きなことをやっているのに、何をやっていいのかわからない、という子が増えているのを感じます。そんな子どもたちと一緒に「楽しい!」を見つけるのが保育者の役目。そのためにはその子の姿をしっかりと見て、今どんなことに興味があるのか、何をしたいのかを見極め、友だちと遊びたいのなら、その橋渡しをする。お部屋で何か作りたいなら、一緒に材料選びをしながら興味を引き出してあげる。そこで気をつけなければいけないのは、口を出しすぎない、手を出しすぎないこと。保育者が楽しいと思うことと、子どもが楽しいと思うことには差があるので、子どもたちの「楽しい!」をいかに察知し、いかに働きかけていけるかが、保育者の腕の見せどころです。

子どもたちの気持ちに寄り添い、

共に学び、共に育ちあう。



## 桑原 あゆみ 先生

KUWAHARA Ayumi

金城学院幼稚園 教諭

名古屋短期大学保育学科卒業後、  
名古屋短期大学専攻科入学・退学。  
2010年 金城学院幼稚園入職  
2015年8月～2017年3月 産休・育休取得  
2017年4月 職場復帰  
2017年5月～2018年6月 産休・育休取得  
2018年6月 職場復帰、現在に至る

### 50周年記念行事を終えて、いま思うこと。

設立50周年記念事業は数年前から準備を進めていましたが、本当に大変でした。コロナ禍もあり、さまざまな判断をしなければならず、何度も職員間で話し合いもしました。けれど、多くの卒園生や保護者の方々が率先してお手伝いをしてくださり、改めて金城学院幼稚園が皆さまに愛されている幼稚園なのだと感じました。当日は多くの卒園生や保護者の方、旧職員の先生方が来てくださり、大きくなった卒園生と嬉しい再会も果たしました。記念すべき50周年に立ち会い、皆さまとお祝いすることができたことをとても嬉しく思っています。

現在、私は2児の母として、子育てをしながら仕事をしています。目まぐるしい毎日ですが、職場の先生方と家族のサポートでなんとか仕事を続けることができています。そんな立場、環境にいるからこそ、見えてくるものや感じるものもあります。今はまだ自分のことで精一杯ですが、いずれ子育てが落ち着いたら、今度はこの経験を生かして、周りの先生方のサポートもしたいし、子どもや保護者の方に今以上に寄り添うことのできる保育者をめざしていきたいと思っています。

教えて先生！

My Favorite

推し活は、  
仕事や子育ての原動力！

アイドルの平野紫耀君の推し活をしています。応援をするようになったきっかけは、平野君が私の地元(名古屋市守山区)出身だったこと(もちろん、お互いになんの面識ありませんが...)。何よりかっこいいし、ダンスも上手いし、人間的魅力もある。そんな平野君の推し活をすることで、子育ての大変な時期を支えてもらい、明日へのチカラをもらっています。



推し活友だちと一緒に作っている「推しうちわ」。

ライブの時にいつも持参しているペンライト。一番左のライトはファーストコンサートのときのものなので特に思い出があります。



### Q. 桑原あゆみ先生ってどんな人？

あゆみ先生は、見たままの、優しくて明るくて、人の気持ちがよくわかる人。支援が必要な子を担任していた時も、その子にしっかり向き合い、関わっていくことで、クラスを見事にまとめ上げていきました。どんな援助が適切なのか、先輩たちに話を聞いたり、施設の見学に行くなど、勉強も怠らないあゆみ先生の姿に、私たちもいい刺激をもらいました。自分の弱さや苦手なことを包み隠さず出す。そういうところも、子どもたちと共感しあえる要素なのでしょう。実は絵がとても上手く、仕事もすごく早いのですが、決してひけらかさず、すごく謙虚。そんなところも、あゆみ先生の魅力です。

率直で共感力がある。それが一番の魅力です。

藤井章恵先生



まっすぐに、何ごとにも  
全力で立ち向かう姿が素敵！

あゆみ先生は、いつも子どもたちのありのままの姿を認め、その時々状況に応じた介入、援助をしています。たとえば子どもが何かに挑戦して、それができなかつたりすると、それがハードルになったり、プレッシャーになったりしますが、そんな時は「無理しないで、今できることをやろうね」と声をかける。それでハードルがぐっと下がるだろうし、子どもたちは逆に自信を持って活動をする。それはとても大事なことだし、あゆみ先生のそんなところが素敵だな、と。2児のママさんで、仕事も家庭も手を抜かず全力で頑張っていますが、大変なときは無理をせず、私たちに頼ってください。

竹森祐香先生



## 金城学院中学生対象の「金城学院大学見学会」を開催しました。

秋晴れの10月28日(土)、“大学とはどんなところなのか見てみよう”をコンセプトに、金城学院中学生にとって初めてとなる金城学院大学見学会を開催しました。当日は中学生約200名と保護者が参加。第1部では中学校の16倍という広大なキャンパスを大学生が案内し、第2部では14学科/コースが用意した35のワークショップの中から興味に合わせて自由に体験してもらいました。早い時期に大学の学びに触れたことは貴重な機会になったのではないのでしょうか。体験を終えた生徒たちが口々に「楽しかったね!」と話すのを聞き、会の成功を感じています。今後もこのような機会を通して、中学生や保護者の皆さまに金城学院大学を知っていただければと思います。



### 薬学科 WORK SHOP

#### 〔薬剤師体験をしてみよう〕

グミを錠剤に見立てた一包化や、粉末ジュースを粉薬に見立てた水薬の調剤を行いました。一包化とは服用時間が同じ錠剤を一つの袋に入れてまとめる方法です。参加した皆さんは真剣に、そして楽しく薬剤師の体験をしました。



#### 薬剤師の仕事体験して 薬剤師への興味・関心が深まりました。

八木亜美花さん(中2)

私の姉が金城学院大学の薬学部3年生で、「勉強は大変だけど、将来の目標が明確にあるから、毎日とても充実している」という話を聞いて、実際、姉はどんな環境で、どんなことを学んでいるのか、自分の目で確かめたいと思って見学会に参加しました。薬剤師体験では、お薬の一包化や水薬の調剤に挑戦。とても楽しく、薬剤師の仕事より身近に感じることができました。キャンパスも広くてきれいで、設備も充実。何より、学生の方たちがみんな優しく、いきいきとしていて、私も将来、こんな素晴らしい環境で学ぶことができたら嬉しいなと思いました。



#### 憧れのCAのお仕事を体験して 学ぶ意欲が湧いてきました。

花谷桃佳さん(中3)

小さい頃から旅行が大好きで、CAさんが笑顔で乗客に接している姿に憧れていました。今日はそんなCAの体験ができるので、朝からワクワク。講師の先生もすぐ素敵で、美しい姿勢やお辞儀の仕方など、日常生活にも応用できる所作をたくさん教えていただきました。また、英語にも敬語があるという話を聞いて、

「英語をもっと勉強しよう!」という意欲が湧いてきました。将来は語学系か医療系に進みたいと思っていますが、中学生のうちに自分の将来を考えるよききっかけが持てました。今日は本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



### 英語英米文化学科 WORK SHOP

#### 〔CA(キャビンアテンダント)の模擬体験〕

英語英米文化学科では、CAの模擬体験を含め、3つのワークショップを実施。CA職場体験では「おもてなしの心とかたち」をテーマに、美しい立ち姿勢や飲み物の渡し方など、心が伝わる所作を体験しました。





## 楽しく、賑やかに。 幼稚園50周年記念バザー開催。

9月16日(土)、幼稚園50周年記念バザーを行いました。コロナ禍の影響で、ここ数年は在園児関係のみの開催でしたが、今年は4年ぶりに入場制限無しのバザーを行うことができました! 50周年という記念の年のバザーということもあり、バザー委員さんをはじめ、たくさんの保護者の方たちが《みんなで50周年記念のバザーを盛り上げたい!!》という想いで、長い期間かけて準備をしてくださいました。当日は、在園児やそのご家族、卒園生や旧職員の方々、そして地域の方々、本当に多くの方たちが来てくださり、大賑わいでした。

### 嬉しい♪楽しい! がいっぱい。

毎年大人気の【子どもマーケット】では、多くの子どもたちが目を輝かせながら、一つひとつの商品をじっくり見て、選んで、レジに行列ができる程の大盛況!! 大人に人気な【大人マーケット】では、保護者の方々の素晴らしい手作り品や、素敵な献品の数々に、「これも欲しい!」「迷う~!」という声がたくさん聞こえてきました。園庭では【園芸ショップ】も出ており、かわいいドライフラワーブーケや様々な種類の植物を目当てに多くの人が集まり、こちらも大盛況でした。そして今年は、【段ボールの巨大迷路】や【子ども縁日】など、子どもたちが楽しめる企画も盛りだくさん! 大好きなお友だちやおうちの方と遊び回り、

景色をもらって子どもたちも大喜びでした♪【ママポンズ】と【讚美歌&手話の会】のステージにも多くのお客さんが集まり、こんなに近くで楽しいパネルシアターや素敵な歌声を聴くことができるなんて、本当に幸せだなあと改めて思いました。

### 子どもたちもお店やさんに!

幼稚園の子どもたちも出店し、紙粘土を丸めたり、型抜きをして作ったメモスタンドや三つ編みストラップなど、子どもた

子どもたちも出店!



ちが一生懸命作った手作りを販売。年長さんたちの「いらっしゃいませ~」「いかがですか~?」という元気な声と、とびきりの笑顔に、たくさんの方が購入してくださいました。卒園生が、「俺もこれ作ったな~」、「今の園の子たちが作ったものも欲しいな」と、自身の幼稚園時代を思い出しながら買ってくれる姿を見て、卒園生の成長した姿と優しい気持ちに、心が温くなりました。

### つながれる喜び。

今年のバザーで嬉しかったことは、卒園生と保護者の方たちがお店を出してくださいましたこと。コロナ禍以前は、毎年卒園生が出店してくださったり、卒園してもずっとつながってられる、それが金城学院幼稚園の良さであり、金城学院幼稚園ならではのバザーでした。しかし、コロナ禍でそれができなくなり、このままバザーと卒園生とのつながりが途絶えてしまうのでは…と不安に思っていました。けれど、今年「出店したい」と準備をしてくださった卒園生・保護者の方たちがいてくださったことが、本当に嬉しかったです。なんと、10年程前に卒園した子の保護者の方たちまで出店してくださり、10年前のバザーの映像を見せて頂いたり、「娘は高校生になったけれど、今の娘の基盤はこの園にある!ここで色々なことを学ばせてもらった」という言葉をかけて頂き、「卒園しても、ずっとみんなとつながってられるこの園に関わることができて、本当に嬉しいなあ」という気持ちでいっぱいになりました。

### 最後はみんなでフィナーレ!

バザーの最後は、かわいい天使さんたちがお祝いに来てくれたり、体操のお姉さんやパイナップルさん、カニーズさんたちと汗だくになりながら、一緒に元気いっぱい体操♪そして最後の最後には、大きなくす玉が…!!! 50周年の記念バザーは大盛り上がりで終わることができました! これからも、たくさんの方とつながってられるこのバザーを、大切に守り続けていきたいです。

職員もダンスを披露



「讚美歌&amp;手話の会」のステージ



「ママポンズ」のステージ



子ども縁日



卒園生が出店してくださったお店



子どもマーケットで売っていた髪飾り



巨大迷路



# 核のない、平和な世界をめざして 「ヒロシマ平和交流会」に参加しました。

2023年8月1日(火)と2日(水)の2日間、金城YWCAの生徒13名が、広島での開催された「ヒロシマ平和交流会」に参加しました。これは広島女学院高校の核廃絶署名実行委員の生徒と金城YWCAが「平和」をキーワードに毎年行っている交流会で、今年で8回目の開催。コロナ禍にあった2020年から3年間はオンラインでの開催でしたが、今年是对面での交流会が復活しました。



平和をテーマに両校でプレゼンテーションしました。

広島女学院高校の校内を案内していただきました。



原爆ドームの前でヒロシマ平和交流会の参加者が一堂に。

校庭に設置された広島女学院原爆犠牲者の碑。

## 広島を訪れ、学んだ核の悲惨さ、平和の大切さ。

交流会1日目の会場は、広島女学院高校。午前中は、礼拝と、両校それぞれの平和のプレゼンテーションを行い、午後からは広島女学院の校内を見学。同校では原爆で350人が亡くなり、校内の慰霊碑には、亡くなった方々のお名前が刻まれていました。午後からは平和記念公園に場所を移し、広島女学院の皆さんの説明を受けながら慰霊碑めぐり。碑の説明はすべて自分たちで調べ、毎年アップデート。高校生である自分たちがすることで、「平和や戦争を身近なこととして受け止めてほしい」という思いがあるそうです。

2日目は両校とも平和記念公園に集合。平和資料館を見学後、広島女学院の生徒約40人と一緒に核廃絶署名活動を行い、行き交う人々に署名を呼びかけました。もちろん、署名は全員がしてくれません。断る人もいれば、「核は必要だ」と生徒に意見する人も。それでも、生徒たちの呼びかけに多くの人が賛同してくれ、目標を上回る署名が集まったことは大きな成果。「戦争についてもっと考えてみよう」、「平和の大切さをもっと多くの人に伝えよう」という思いを新たにすきっかけにもなりました。なお、この署名活動は、「核廃絶!ヒロシマ・中高生による署名キャンペーン」として2008年に

始まったもので、集めた署名は、平和首長会議を通して国連関係者に届けられます。本校でも毎年この署名活動に協力しており、今年も、しらゆり祭でYWCAの生徒が署名活動をし、544筆を集めました。



海外の方からも多くの協力をいただきました!

署名活動を通して多くの方と対話もできました。



交流会引率者の沖崎学先生(宗教主事)と。

## 確かな手応えを感じた核廃絶署名活動。

早川 凛 (3年生)



今回の交流会のメインイベントは、核廃絶の署名活動。最初は緊張と不安でいっぱいでしたが、広島女学院の皆さんが明るく、元気にやっていることに勇気をもらいました。いざ始めてみると力が湧き上がり、気がついたら海外の人にも英語で呼びかけている自分がいました。署名活動を通してわかったのは、核兵器を持っていた方がよいと考える人もいるということ。でも、私はやっぱり核兵器の惨禍を2度と繰り返してはいけないと思うし、唯一の被爆国、日本にいるからこそ、核廃絶や平和の大切さを世界に訴え続けなければいけないと思っています。今回の交流会に金城YWCAの1年生がたくさん参加してくれたのも嬉しかったし、愛と友情を持って私たちを迎えてくれた広島女学院の皆さんにも、感謝の気持ちでいっぱいです。

## 世界の誰もが平和だと思える未来をつくっていききたい。

新海いろは (3年生)



私がYWCAの活動を始めたきっかけは、去年の「平和を考える日」でYWCAの3年生が「ウクライナ支援の現状と課題」というテーマで精力的に活動をしている姿を見て、カッコいいなと思ったこと。私も先輩と同じように平和の種まきをしたいと思いました。今回の「ヒロシマ交流会」に参加して感じたことは、広島女学院の皆さんは自身の学校の先輩たちが何人も亡くなったり、被爆者の方が身近にいて、ふだんから戦争や平和について話し合う機会も多く、私たちとは平和への思いの強さが違うなということ。海外から来た人たちに、英語で平和の大切さを訴えている姿にも良い刺激を受けました。世界各地で戦争が起きている今だからこそ、平和の大切さについてもっと学び、声をあげていくことが大事だと強く感じました。



## 夏休み理科探究ワークショップで 重力加速度 $g$ の測定に挑戦！

2023年8月24日(木)、第一理科実験室で中学3年生対象の「夏休み理科探究ワークショップ」を行いました。探究テーマは「重力加速度の測定」。参加した12名の生徒は4つの班に分かれ、それぞれが違う手法で重力加速度の測定に挑みました。夏休みの1日を使った測定実験の結果は、見つかった課題は――。

ワークショップを企画した堀川裕明先生と、参加した4名の生徒に話を聞きました。



### 身近なものを使って、重力加速度を測ろう。

8時30分から始まったワークショップは高校物理の講義からスタート。というのも、重力加速度は高校物理で学ぶもので、加速度を求める計算式も高校数学の知識が必要なため。生徒たちは「難しい」と言いながらも、真剣に取り組んでいました。ちなみに重力加速度とは物体が落下するときに重力がかかることによって生じる加速度のことで、その大きさは物体の重さや形によらず、およそ  $9.8\text{m/s}^2$ 。その値は測る場所によってわずかに異なります。今回は、この重力加速度の大きさを「自由落下運動」「力学台車の斜面の加速」、「単振り子の周期を利用」の3通りの方法で測定。生徒たちは班ごとに分かれ、それぞれ違う手法で測定実験に取り組みました。

### 驚きと発見、感動でいっぱいの一日に。

「今回のワークショップの目的は、身近にある題材を科学という窓から見て、科学への興味や理解を深めてもらうこと」と、堀川先生。「虹が出る。飛行機が飛ぶ。物が下に落ちる。これ、みんな科学なんです。じゃあ、その裏にどういう理論があるのか。それを実験やレポート作成を通して探り、理解してほしいな、と。そのためにも、正確な数値を求めることよりも、手法を工夫したり、誤差の原因を検討することに主眼を置いた」と言います。生徒たちは見事その期待に応え、良い結果を出してくれました。また、「はじめまして」で始まったグループの生徒同士に連帯感が生まれ、協働で課題解決に取り組めたのも大きな成果。今後も継続してやっていきたいです。

理科教員 堀川 裕明



### 自由落下運動による $g$ (重力加速度) の測定。

私たちは、ある高さからボールを落下させ、そのときにかかる時間を測定することで  $g$  を測定しました。最初は2つのチームそれぞれでやっていたのですが、誤差を小さくすることを目的に合同で実験を続行。高さをさらに高くする、ボールを変えてみる、ストップウォッチを押すタイミングを工夫するなど、試行錯誤しながら実験を繰り返したのですが、測定者が人間なのでどうしても誤差が生まれてしまう。実験を何回か繰り返すことで疲れや慣れによる誤差を小さくし、納得のいく結果を出すことができると思うので、ぜひみんなで再挑戦したいと思っています。



左から井上明美さん、  
新井しなのさん

### A玉を転がして $g$ を測定。

私たちは、レールの角度や長さを変えながらA玉(ラムネ瓶に入っているガラス玉)を転がし、各条件下で10回ずつ測ることで  $g$  を求めました。最初はストップウォッチを押すタイミングがずれ、誤差も大きかったのですが、慣れるに従って揃った数値が出るようになりました。実験を通してわかったことは、急な角度で距離が短いほど誤差が出にくいこと、A玉が転がる時にエネルギーの一部は摩擦エネルギーや音エネルギーに変わるので、数値は  $g$  の基準値より大きくなることはない、ということ。高校レベルの物理や数学に挑戦できたことも楽しかったです。



祖父江友理さん

### 振り子の振動を利用して $g$ を求めました。

振り子の周期を測定することで  $g$  を求めました。おもり、ボール、50円玉、ドーナツ型の磁石を使い、それぞれ30回往復する時間を計り、その時間を30で割って1往復にかかった時間を計算。それを計算式に当てはめて  $g$  を割り出しました。おもりは重心がわかりにくいこと、ボールや磁石は円運動が加わって基準値を大きくずれてしまうことから、50円玉を使い、振り子の振幅を小さくすることで回転を極力小さくした結果、 $9.78\text{m/s}^2$ と、愛知県の重力加速度  $9.79$ に近い数値が出ました。充実感のある楽しい1日を過ごし、物理がますます好きになりました。



加藤瑠奈さん

## 寄付金の お礼とご報告

金城学院へのご寄付をいただきまして、心より感謝申し上げます。今号では2023年6月から2023年10月末日までにご寄付をいただきました方々のご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。みなさまからのご厚志を有効に活用させていただきます。今後とも金城学院へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 寄付者ご芳名録

(敬称略・順不同)

分 部 尾 上	三 浦 剛	上 島 訓 子	林 まどか	井 上 瑞 穂	滝 川 林 弥	井 口 愛 子
戸 田 友 実 子	松 原 瑳 織	瀧 上 恵 威 子	尾 関 設 子	服 部 さ ち	矢 澤 克 子	金城学院大学 文学部 英語英米文化学科同窓会
中 田 路 実	加 藤 歌 子	飯 田 英 知	大 西 康 代	井 上 純 奈	木 野 村 敏	
小 室 尚 子	岸 部 晃 幸	廣 澤 一 郎	後 藤 陽 子	深 川 直	平 子 貴 雄	
松 田 聖 士	藤 原 かほる	小 島 秀 章	種 田 美 佳 子	堀ノ内 尚 子	市 川 裕 子	
中 川 洋 子	中 川 昭 子	坂 倉 弘 靖	大 見 典 子			
倉 戸 美 穂	二 宮 亜 希	佐 々 木 ひかる	佐 藤 真 由 子			
河 野 裕 康	井 上 辰 志	日 永 美 知 代	村 尾 静 枝			
竹 田 桂 子	坂 野 健 吾	真 木 芳 子	木 俣 君 枝			
飯 田 憲 史	冨 田 時 代	土 井 君 子	黒 田 麻 友 香			
金 海 勇	森 川 信 義	坂 清 子	加 藤 純 也			

寄付者	件数	寄付目的	寄付金額(円)
ご父母	31	修学奨学金	440,000
教職員(元教職員含む)	6	本学院発展	9,055,000
卒業生	40	総計	9,495,000
その他	2		
総計	79		

※匿名希望及び掲載の可否を確認できない方 21件  
同一寄付者による複数回の寄付 2件

## 金城学院 維持協力会

金城学院維持協力会は、「金城学院の教育活動に対する支援と、さまざまな社会環境の変化に対する適切な助言を行うことによって、金城学院の維持・発展に寄与すること」を設立の趣旨とし、2011年度に発足されました。現在、東海地区を代表する有力企業などにご賛同いただき、ご入会いただいております。

### 維持協力会ご芳名録

(敬称略)

#### ■ 法人

アイシン開発株式会社  
愛知株式会社  
株式会社アイビーネット  
株式会社アイワット  
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー  
株式会社アドマテックス  
天野商事株式会社  
エスパシオエンタープライズ株式会社  
NTP名古屋トヨペット株式会社  
エヌビーエス株式会社  
株式会社オティックス  
株式会社カミヤマ  
株式会社キクタケ  
教育産業株式会社  
株式会社杏林堂薬局  
キョーワ薬局株式会社  
金城学院大学生協同組合  
キンセイマテック株式会社  
株式会社きんでん 中部支社  
グリーンシティケーブルテレビ株式会社  
コクヨマーケティング株式会社

株式会社sus4  
三協立山株式会社 三協アルミ社  
三建設備工業株式会社 名古屋支店  
株式会社三晃社  
株式会社産通  
サンメッセ株式会社  
三和油化工業株式会社  
株式会社シーアールイー  
株式会社シーオーイー  
株式会社ジェイエスティ  
敷島製パン株式会社  
株式会社正文館書店  
株式会社進研アド  
株式会社新東通信  
スギホールディングス株式会社  
株式会社スギヤマ薬品  
セクダム株式会社  
株式会社瀬古写真館  
瀬戸信用金庫  
株式会社大学通信  
大成建設株式会社 中部支店  
大成有楽不動産株式会社 名古屋支店

大成ロテック株式会社 中部支社  
ダイダグ株式会社 名古屋支社  
武田機工株式会社  
中央電気工事株式会社  
株式会社中京テレビサービス  
株式会社中部キャラバン  
中部電力株式会社  
中部土木株式会社  
中部日本放送株式会社  
電子システム株式会社  
東海東京証券株式会社  
東海報知機株式会社  
東邦ガス株式会社  
トヨタT&S建設株式会社  
トヨタモビリティ東名古屋株式会社  
トリニティー株式会社  
有限会社永井抱陽写真館  
株式会社中日本造園土木  
株式会社名古屋銀行  
日本管財株式会社  
株式会社日本ドリコム  
表示灯株式会社

株式会社ヒロエンジニアリング  
株式会社ファインメディカル  
福玉精穀倉庫株式会社  
株式会社ブランナーズブランド  
株式会社朋和商事  
株式会社マイナビ  
丸善雄松堂株式会社 名古屋支店  
ミクニ機工株式会社  
株式会社三菱地所設計  
三菱電機ビルソリューションズ株式会社  
中部支社  
株式会社ヤマハミュージッククリティリング  
一般社団法人ライフ予防医学センター  
リンナイ株式会社

#### ■ 個人

浅井 清司 杉浦 孝洋  
杉田 幸雄 野田 清衛  
橋本 修三 半谷 眞一郎  
山田 隆雄 吉岡 肇

2023年10月末日時点

# Christmas Special Calendar

## 金城学院大学

### ハンドベルクワイア クリスマスコンサート

**日時** 12月9日(土)  
16:45開場 17:30開演

**場所** 金城学院大学  
アニー・ランドルフ記念講堂

**入場料** 一般 1,500円

### 大学クリスマス礼拝

**日時** 12月21日(木) 17:00~18:30

**場所** 金城学院大学  
アニー・ランドルフ記念講堂

#### 第1部 クリスマス礼拝

**説教者** 中家 盾  
(日本キリスト教会大阪西教会牧師)

**特別讃美** 大学クワイア  
大学ハンドベルクワイア  
ウクライナへの祈り  
ーウクライナ語による讃美ー

#### 第2部 ウクライナのクリスマス~交流と祈り~

## 金城学院中学校・高等学校

### 中学校・高校グリークラブ

**日時** 12月9日(土) 13:30

**場所** 日本基督教団名古屋中央教会  
(愛知西地区青少年連合クリスマス会)

**日時** 12月16日(土) 16:30

**場所** 徳川園

**日時** 12月23日(土) 17:00

**場所** 松坂屋 南館オルガン広場

**日時** 12月24日(日)・25日(月) 16:30

**場所** ミッドランドスクエア

## クリスマス行事のおしらせ

## 金城学院中学校

### ハーブアンサンブル部

みどり野会クリスマス讃美礼拝

**日時** 12月9日(土) 10:30

**場所** 中学校礼拝堂

### ハンドベルクワイア

**日時** 12月10日(日) 14:00

**場所** 日本福音キリスト教会連合栄聖書教会

**日時** 12月17日(日) 14:00

**場所** 日本キリスト改革派尾張旭教会

**日時** 12月25日(月) 14:30

**場所** ミッドランドスクエア

## 金城学院幼稚園

### にじぐみクリスマス礼拝(満3才児親子)

**日時** 12月13日(水) 10:45

**場所** 金城学院幼稚園

### クリスマス讃美礼拝(親子)

**日時** 12月14日(木) 9:50

**場所** 金城学院幼稚園

### クリスマス親子礼拝

**日時** 12月16日(土) 13:15

**場所** 金城学院大学  
アニー・ランドルフ記念講堂

#### プログラム

- ◎礼拝
- ◎金城学院中学高等学校グリークラブ
- ◎年長児キャロリング

## 金城学院高等学校

### ハンドベルクワイア

礼拝とミニコンサート

**日時** 12月10日(日) 10:15

**場所** 日本基督教団御器所教会

**日時** 12月16日(土) 14:00

**場所** 愛知県図書館

**日時** 12月17日(日) 13:00

**場所** 日本基督教団南山教会

**日時** 12月23日(土) 14:00、15:30

**場所** 松坂屋 南館オルガン広場

**日時** 12月24日(日) 14:30

**場所** ミッドランドスクエア

### ハーブアンサンブル部

礼拝とミニコンサート

**日時** 12月24日(日) 10:30

**場所** 日本基督教団名古屋西教会



## 金城学院 × note

全ての女性の  
"ためになる"  
記事を発信中



公式noteはこちら

<https://knowledge.kinjo-gakuin.jp/>

## KINJO INFORMATION

### 金城学院オリジナルグッズ 新商品のご紹介



本革名刺入れ  
名古屋のオーダーメイド  
靴・鞆の店シューズ・ボナ  
ンザ様とコラボし、金城学  
院オリジナルの本革名刺  
入れが完成しました。

完売  
御礼



「金城学院フェイラーオリジナル  
ハンカチ第3弾」大変ご好評をいた  
だき、完売いたしました。

金城学院  
オンラインストア  
商品の詳細情報や  
ご注文はこちらから



クリスマスメッセージ



## クリスマス・スピリット

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった」

[新約聖書 ルカによる福音書 第2章11節]

1979年、私はニューヨークの美大に留学しました。そしてアメリカでの初めてのクリスマスにはとても驚かされました。アメリカは12月25日は国民の祝日です。25日に私は友人と街中に繰り出しましたが、どこも閉まっており、遊ぶところなど一つもありませんでした。近年でこそ多様性が広まり営業する店も増えてきましたが、それでもクリスマス・イブは通常深夜まで営業しているレストランやパブなども5時くらいで店仕舞いします。それはクリスマス・イブの夕礼拝や深夜

礼拝に行きたい人々への配慮からです。キリスト教徒の多くは24日に礼拝に出て、25日は家族で集まってキリストの誕生をお祝いします。そのような伝統の中には救い主の誕生を心から祝うクリスマス・スピリットが今も生き続けています。

金城学院大学に来て6年目になりますが、学生、生徒、教職員、また多くの方がクリスマス・スピリットを感じてくださることを心から願っています。

吉松 純 (大学宗教主事)

## みどり野会(同窓会)より

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です。『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)、旧約聖書の詩篇第23篇から名付けられました。

主はわが牧者なり われ乏しきことあらじ  
主は我をみどりの野にふさせ  
いこいの水濱にとまひたまふ

神さまによってこの学院に集められた私たちが卒業後も母校に集まり、いこいの時を過ごす場という意味で「みどり野会」はいつも皆さんと共にあるのです。

### お知らせ

#### 2024年度 みどり野会総会

- 日 時：2024年4月20日(土) 10:30~14:00
  - 場 所：名古屋東急ホテル
  - 礼 拝：日本基督教団半田教会 横山 ゆずり 牧師
  - ◎ 要申込：みどり野会事務局までお申し込みください(会費制)
- ※総会後の愛餐会でミニコンサートを予定しております。

※イベント予定の変更がある際は、みどり野会HPにてご連絡します。

お問合せ先 電話：《本部》052-931-4480(中学校白百合館1階) / 《分室》052-798-0193(大学本部棟4階)  
[みどり野会事務局] <https://www.kinjo-midorino.com> ※活動詳細は会報『みどり野105号』をご覧ください。

## 寄付金募集について

これまでの金城学院への様々なご支援に心より感謝申し上げます。今年度もご寄付をお受けしております。2口以上ご寄付賜りました方には本学院より心ばかりの品をお送りさせていただきます。

### 寄付金の使途

1. 修学奨学金のため
2. 本学院発展のため

2項目からお選びいただけます。

寄付に関する詳細は寄付リーフレット及びホームページをご覧ください。

<https://www.kinjo-gakuin.jp/donation/about/index.html>



学校法人 金城学院  
名古屋市守山区大森二丁目1723番地  
TEL.052-798-0180  
発行者 / 金城学院報編集委員会  
金城学院報通巻第112号  
(with Dignity vol.42)  
発行 / 2023年12月

表紙について

美しい響きと優雅な立ち姿が魅力のハープ

美しい音色と優美なフォルムで「楽器の女王」とも称されるハープ。大きく分けて3種類のサイズがあり、表紙のハープはその中でも最も大きい「ペダルハープ」。弦の数は47本。足元に7本のペダルがあり、上下することで半音を作ります。これによりピアノと同じ音域が表現できる楽器となっています。(高校ハープアンサンブル部所有・栄光館にて)



with Dignity

金城女学校・第6代校長であるエラ・ヒューストンが、外出する生徒に「金城の生徒として“You must have dignity”と話しかけたことに由来しています。“dignity”は、尊厳・品位の意。

本誌「with Dignity」は、学院へのご寄付を賜りました皆さま(直近5年以内)、金城学院維持協力会員の皆さま、金城学院の園児・生徒・学生へ配布しています。また、金城学院のホームページ(<https://www.kinjo-gakuin.jp/>)でもご覧いただけます。住所変更や購読中止を希望される方はホームページからご連絡ください。